

国際感覚身につけた人材育成を 教職員、旅行会社、観光局三者の討論会も

JATAアウトバウンド促進協議会では今年度、福岡・東京・沖縄・大阪で海外教育旅行セミナーを開催する計画ですが、8月1日に行われた福岡では教職員や旅行会社、政府観光局などの関係者100名、10月20日実施された東京では同じく約80名、11月22日の沖縄会場では21名が参加しました。今後は大阪でも12月12日に開催予定です。

この教育旅行セミナーは高校生が海外での異文化体験を通じ、国際感覚を身につけた人材を育成することを目的



初の試みとなるディスカッション形式も好評でした

的に、文部科学省のサポートを受けて2018年度から始めたものです。

JATA研修室で行われた東京でのセミナーは、まず文部科学省総合教育政策局教育改革・国際課専門職加藤賢一氏がグローバル人材育成に向けた海外教育旅行の重要性についての講演を行い、続いて聖心女子大学文学部教育学科教授の益川弘如氏が、新学習指導要領に基づいたグローバル人材育成と海外教育旅行の位置付けを説明しました。さらに埼玉県の公立高校で海外修学旅行を多数実践した実績を持つ木田二彦氏（現全国修学旅行研究協会国際部長）による、海外教育旅行の成果やリスク回避の手法などについての話がありました。

またこのセミナーでは参加者を10グループに分け、グループ内で討論する試みも実施されています。これは教育旅行関係者教職員、観光局、旅行会社がグループごとにディスカッションを行うもので、参加者からは「新学習指導要領にあるグローバル人材育成に海外教育旅行が担う役割は大きいことが認識できた」との声も聞かれました。JATAでは今後も同様の内容でセミナーを実施し、参加者へのアンケートなどを通じてさらに改善を加え、より効果的な内容としていく予定です。

JOTC 航空会社インタビュー 第4回

Spring Japan／王ウェイ会長

日中民間交流の架け橋目指す

2018年に就航4周年を迎え、現在日本国内線と中国国際線を中心に運営しているLCC、Spring Japan。今後の取り組みや旅行業界との連携強化に向けた考え方などを王ウェイ会長にお話を伺いました。

—春秋航空日本の日中の観光に対する考えを教えてください。

王ウェイ 日本法人として、中国国際線のみならず日本国内線を開設しています。これは日中双方のお客様に互いの国をよく知ってほしいという願いからです。中国から日本に来るお客様は20代、30代が中心ですが、日本から中国へのお客様はシニア層が多い。日本の今後のことを考えると、もっと若い人たちに海外へ出て行ってほしいと思います。その役割の一端を当社が担えればという思いとともに、通常観光に加え食や体験の重要性も知ってほしいと思います。

—日本市場での需要拡大に向けての重点的な取り組みは。

王ウェイ 経営基盤固めのための国際線増便や事業拡大に向けて、新規路線開拓をはじめとした中国へのネットワークの拡充に取り組んでいきたいです。まずは弊社が運営している中国国際線のデイリー化を目指し、路線の基盤や認知度を強化するのが第一歩です。さらに中国側が日中関係の改善に前向きな姿勢を示したことで、弊社のグループ会社である春秋航空（中国）の豊富な中国国内路線のネットワークを活かし、中国をもっと知っていただけるよう運賃も含めて準備を進めています。

—旅行会社とはどのような関係を構築していくお考えですか。

王ウェイ 旅行会社とはWIN-WINの関係を築くことを目指して

います。Spring Japanの認知度はまだ高いとは言えず、当社の「低運賃・高サービス」という魅力が一部のお客様にしか届いていません。しかしロードファクターはオフ期でも85%以上を目指ために旅行会社のネットワーク力、企画・販売力でより多くのお客様にSpring Japanの魅力をお伝えたいと思います。現在、オフ期を中心に当社の中国行きの座席を日本の旅行会社に仕入れていただけており、今後はこのシェアを少し上げたいと思っています。

—双方向交流の拡大についてはどのような考えをお持ちですか？

王ウェイ 双方向交流を真の意味で拡大するためには、上海、北京、あるいは東京、大阪といった大都市だけではなく、地方のよさを知る必要があります。形を作っていくことで、次第に口コミで増えていくと思いますが、そのためには、日中両国の関係者が腹を割って話し合うことも大切でしょう。こうした取り組みにも係わって行きたいと願っています。

Spring Japan
TEL 0476-33-7780

※インタビューの全文はJOTCのホームページ
(<http://www.jata-net.or.jp/outbound/>)でお読みいただけます